

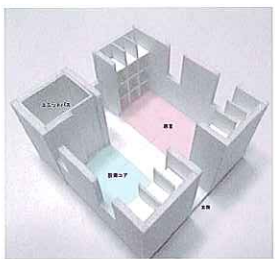
避難所の衛生を保つため、被災者の健康をサポートするために、被災地のトイレ環境改善に向けて、建築家の支援と協力を求めています(加藤篤 | 日本トイレ研究所代表理事)。建築家には、危険度判定以外にも、できることは多くあるはずである。香川から東北を中心とした被災地にお風呂を届けることは、震災直後の時点では、リアリティーのない話であったが、居ても立ってもいられず、設計に取りかかった。(齊藤正 | 齊藤正 葺工房)。

## 特集 東日本大震災、 建築家は 何が でき るのか



宮城県本吉郡南三陸町に設置された仮設風呂「ZENKON湯」

- 建築士会連合会青年委員会 | 全国のネットワークを生かし、応急危険度判定を迅速に!
- 本間利雄設計事務所+地域環境計画研究室 | 山形市総合スポーツセンターの避難所利用状況
- 設計集団Learn-Network | 応援メッセージを貼り付けたダンボール製の避難地用パーティション
- ボランティア・アーキテクト・ネットワーク(VAN) | より進化した避難所用簡易間仕切システム
- 加藤篤 | 用が足せば良しという問題ではない。避難所にほしい安心・安全・快適なトイレ
- 齊藤正 | 燃料はガレキ、数時間で完成できる仮設風呂「ZENKON湯」を被災地に
- 北沢杏子 | 女性、子どもを守るために、避難所・仮設住宅にシェルターの設置を
- 中谷ノボル・宮下美美子 | 仮設住宅ではなく「仮住まい」を、他者とのかかわりの中で生活再建を
- たかざみ江 | シェアハウスでの暮らし方・受け入れ方を共有し、トラブル未然に防ぐ
- 吉村靖孝 | コンテナ規格のユニットで、安価で恒久的な住まいを提供
- 塩崎賢明 | 東日本大震災の被害と復興「復興災害」を避けるための方策を探れ



地域の話題・九州—  
パネル化・伝統構法。  
鉄骨に代わる  
木造仮設住宅の  
可能性— 古田孝

オピニオンの視線  
防災災害復興には  
自主的に行動を起こす  
地域力をうくれ  
— 大西賞典 —  
ワールドレポート  
被災地における建築家の職能  
— 江崎貴洋 —  
ハイチ大地震建築支援活動①



クロースライン—  
減築で  
耐震改修すれば、  
新築移転に比べて  
約百億円削減  
— 鳥取市庁舎問題